資料４

荒瀬ダム撤去に伴う「地域づくり部会」報告

平成 27 年度の検討事項

課題	まちづくりの展開	リーディング事業
地域の履歴を振り返り、課題を整理し目標案を設定。	事業メニュー案の抽出と、その取り組み手法を検討。	リーディング事業（先導的に行う事業）の抽出と、その実行主体を検討。

「宝の川」再生

①川辺の暮らしの価値を見直し、生活を支える豊かな川を取り戻す

②若い人や外からの人が参加しやすい「ものがたり」を創る

《ボートハウスの活用とソフト事業展開》

ボートハウスの利活用
↓
川へのアクセス
↓
川を活かしたイベントの研究
↓
既存施設の有効活用

「川遊び講座の開催」

ボートハウス周辺の球磨川を活用したイベントや川の安全活用のための講習会（スタッフ育成も兼ねる）等の企画を検討するとともにボートハウスの利活用方法を検討する。

川遊びチームの立上げ

《川を活かした坂本らしい暮らし・仕事検討》

空き家・遊休施設の調査
↓
人材データバンクづくり
↓
空き家・遊休施設の活用策
↓
地域情報発信

「食メニューの開発」

地域の物産等を利用した料理メニュー・加工品に関するアイデアの意見交換、調査方法、試作品づくりやレシピ集の発刊等を検討するとともに、さかもと館やクレオンの活用方法も検討する。

食メニューチームの立上げ

《まちの名所ネットワーク検討》

観光資源の発掘・開発
↓
資源を活かしたルートづくり
↓
事務局機能の強化
↓
ものがたり（ＰＲ戦略）づくり

「100 人会議の開催（事務局の強化）」

まちづくりに関する合意形成や人材の発掘、若手の育成などを兼ねた 100 人会議の企画・開催方法等を検討するとともに、JR 坂本駅の利活用を検討する。

100 人会議チームの立上げ

平成 28 年度の取組みと到達目標

LP（先導事業）実施のための準備チームを立ち上げ、企画・準備、事業運営を行う。地域づくり部会（全体会議）では、各 LP チーム間の情報共有と全体調整を実施。

第５回地域づくり部会
日時：平成 28 年 5 月 31 日（火）

議論のテーマ
平成 27 年度の検討事項の確認を行い、今年度の部会の進め方、スケジュール及びリーディング事業ついての検討を行った。

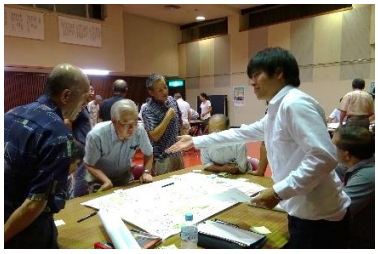
第６回地域づくり部会
日時：平成 28 年 7 月 21 日（木）

□ボートハウス見学

議論のテーマ
リーディング事業の内容及び工程、実施体制の検討を行った。

第７回地域づくり部会
日時：平成 28 年 9 月 15 日（木）

【プレ 100 人会議の開催】
議論のテーマ
100 人会議のプレ開催と位置づけ、各チームの関係団体に参加を呼びかけ、情報収集と意見交換を行った。



ボートハウス現地調査の実施／平成 28 年 7 月 21 日

【ボートハウス見学後の感想】

- 地元でよく利用していた。水さえあれば使えるようになる。ぜひ活かしていただきたい。
- シャワーなどの設備が思ったよりきれいで、宿泊施設にするにはもってこいだと思った。少し掃除をしたら明日からでも使えそうに感じた。きっと喜んでもらえる施設になると思うので、是非活用してほしい。
- 雨漏りの修理など建物を整備して、エアコンなどを使えるようにしないと施設としては使えない。

リーディング事業（先導事業）の実施

次年度に行うモデル事業の課題を抽出し、計画に反映させる。

川遊びチーム

チームづくりと水あそび情報の収集
↓
情報の整理

現地調査の実施（荒瀬ダム～ボートハウス）→
安全講習の実施 →

①体験プログラムの基本メニューづくり
②川マップ・ルールづくり
③スタッフ育成

ボートハウスの利活用方法検討

食メニューチーム

チームづくりと食関係情報の収集
↓
情報の整理

食材、人材、食メニュー調査（アンケート、聞き取り調査）の実施 → 試食会の実施

さかもと館・クレオンとの連携手法検討

100 人会議チーム

チームづくりと参加呼びかけ者情報の収集
↓
情報の整理
（人材リスト）

実施計画作成と開催準備 → （仮）100 人会議の開催【11 月下旬頃】

活動拠点（事務局設置）の検討
（公的施設や駅の利活用方法検討）

プレ 100 人会議の様子／9 月 15 日

平成 28 年度の到達目標：『地域づくり』に係る計画書の策定

＊ **計画書の骨子案**

① 目標（スローガン）の設定　　（仮）蘇る宝の川と私たちのふるさと
② 計画の目的及び基本的な考え方
③ 平成 29 年度活動計画と平成 29 年度以降の実施計画